

■辻村みちよ 化学者。女性の大学進学ができず、理研研究生となって、緑茶の研究で、わが国女性の農学博士第1号になった。  
つじむらみちよ  
初の対等条約1888= 埼玉県足立郡桶川町で生まれる。  
帝国憲法発布1889= 1歳：

日清戦争始・1894= 6歳：

八幡製鉄始・1897= 9歳：

日露戦争終・1905=17歳：  
満鉄発足・・・1906=18歳：

伊藤博文暗殺1909=21歳：東京府立女子師範学校を卒業し、東京女子高等師範学校理科に入学。

保井コノ教授の教えを受けて、研究へ強い関心を抱くようになり、

明治天皇没・1912=24歳：  
大正政変・・・1913=25歳：卒業し、横浜高等女学校に勤務、

21ヶ条要求・1915=27歳：

ロシア革命・1917=29歳：埼玉女子師範学校に転じ、

大暴落・・・1920=32歳：女子入学認められないため、北海道帝国大学農学部の無給助手となり、蚕の栄養について研究。

原敬首相暗殺1921=33歳：

水平社結成・1922=34歳：東京帝国大学医学部に移動し、生化学の研究を続け、

関東大震災・1923=35歳：大震災で教室が全焼したため、理化学研究所に移って研究生となり、鈴木梅太郎研究室で食品・栄養・生物化学研究に従事。

護憲三派圧勝1924=36歳：\*三浦政太郎とともに、ビタミンCの研究を始め、「緑茶中のビタミンCに就いて」共同報告。

世界恐慌・・・1929=41歳：緑茶中の渋味成分たるカテキンを初めて分離、

海軍軍縮条約1930=42歳：さらに、カテキンより渋味の強いタンニンを無定形で分離し、

満州事変・・・1931=43歳：

五一五事件・1932=44歳：\*「緑茶ノ化学的成分ニ就テ」と題した研究論文により、わが国女性の農学博士第1号となる。

国際連盟脱退1933=45歳：

帝人疑獄事件1934=46歳：緑茶中から新しい種類のカテキンたるガロカテキンを分離、

芥川直木賞始1935=47歳：タンニンを結晶で取り出す。植物体より結晶ビタミンCを製造する方法について特許取得。

日中戦争始・1937=49歳：

日米開戦・・・1941=53歳：

・・・・・・1942=54歳：理化学研究所副研究員、

敗戦・・・1945=57歳：

新憲法公布・1946=58歳：\*敗戦後、ようやく、女子学習院講師となって、教える立場になり、以後も研究を続けて行く。

三大事件・・・1949=61歳：お茶の水女子大学教授、

朝鮮戦争始・1950=62歳：初代家政学部長となる。

独立回復・・・1951=63歳：

55年体制始・1955=67歳：退官し、実践女子大学教授となる。

国連加盟・・・1956=68歳：緑茶の成分・タンニンの種類・構造についての研究業績により、日本農学会から日本農学賞が贈られ、

安保闘争・・・1960=72歳：

TV宇宙中継始1963=75歳：\*実践女子大学教授を退職、

震ヶ関ビル・1968=80歳：勲四等宝冠章。

全共闘・・・1969=81歳：豊橋の姪の家で、没した。